

大 津 北 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開催日時	令和8年2月16日（月）午後3時30分～午後4時40分	
開催場所	大津北警察署 3階大会議室	
出席者	委員	石井智委員（会長）、前川賢慈委員（副会長）、土井文雄委員、中谷邦子委員、西村秀哉委員
	警察	安田署長、宮脇副署長、水野調査官（警務課長） 小西会計課長、鳥毛留置管理課長、野元生活安全課長 高峰地域課長、岡本刑事課長、山本交通課長、篠崎警備課長
議事概要	<p>1 警察署協議会</p> <p>(1) 署長挨拶</p> <p>署長から「新年度に向け人の動きも活発になり事件・事故の増加が見込まれる。警察も人事異動で署員が変わると思うが、県民が安全・安心に過ごせるよう、現体制と変わりなく、署員一丸で各種活動を展開していく。」旨の挨拶の後、令和7年中の管内での刑法犯認知件数と交通事故の発生状況が説明された。</p> <p>(2) 議事</p> <p>警察から、令和7年中の各課の取組について説明がなされた。</p> <p>委員から「警察官採用について、県警本部と大津北警察署の募集の違いは何か。県警本部が一括で募集しているのではないのか。」旨の質問がなされ、警察から「県警本部だけでなく、全所属が募集業務を行っている。」旨の説明がなされた。</p> <p>委員から「大津北警察署で募集し、採用された方は大津北警察署に配属となるのか。」旨の質問がなされ、警察から「滋賀県警察の警察官として採用されるので、大津北警察署で募集したからといって必ず大津北警察署に配属されるものではない。」旨の説明がなされた。</p> <p>委員から男性職員の育児期の休暇取得について、「男性職員の育児休暇などのワークライフバランスは非常に良い。」旨の意見に加え、「育児休業中の支援要員は来てもらえるのか。制度がしっかりとしていないと申請を出さない者が出てくるのではないか。」旨の質問がなされ、警察から「本部から人員を割いてもらっている。」旨の説明がなされた。</p>	

委員から「男性職員の育児休暇などのワークライフバランスをもっとアピールすれば警察官募集の数も上がる。また、AIを活用し効率化を図り署員の負担を減らすべきである。」旨の提言がなされた。

委員から「管内の官舎は大津北警察署が管理しているのか。」旨の質問がなされ、警察から「全ての管理を大津北警察署で行っている。」旨の説明がなされた。

委員から「防犯教室については、老人クラブやサロンなどの小規模の集まりでも実施してもらえるのか。」旨の質問がなされ、警察から「小規模でも要請があれば日程調整し、実施する。」旨の説明がなされた。

委員から山岳遭難に関して、「行方不明の捜索には警察犬を使うが、山岳遭難では使うことができないのか。」旨の質問がなされ、警察から「犬や指導員の体力や安全面があるので、ケースバイケースとなる。」旨の説明がなされた。

委員から「特殊詐欺の傾向や手口を教えてほしい。」旨の意見がなされ、警察から、発生が多いSNS型投資詐欺やロマンス詐欺、オレオレ詐欺の説明に加え、警察官騙りの詐欺について説明がなされた。

委員から「通学路で活動されているスクールガードの方の中で、車の前に身を乗り出して、止めようとしている方がおられる。危険なので指導できないか。」旨の意見がなされ、警察から「交通安全指導の要請を受ければ対応する。交番や駐在所に相談していただいても対応できる。」旨の説明がなされた。

委員から「北小松バイパスが完成して旧道の交通量が減ったが、2か所の信号交差点で車が来ないのに3分くらい待たなければならない。何か対策は取れないか。」旨の意見がなされ、警察から「信号機の1基は撤去を計画しており、もう1基は調整中である。」旨の説明がなされた。

委員から「琵琶湖大橋交差点は週末だけ混むが、信号機の調整はできないのか。」旨の意見がなされ、警察から「渋滞の状況は把握しており、大きな交差点で関係する信号機も多いので、調整中である。」旨の説明がなされた。

委員から「事案共有システムとはどのようなものか、また、その情報を行政と共有できるのか。」旨の質問がなされ、警察から「事案の発生

場所や警察官の活動場所を確認できるもので、システムでの行政との情報共有はできないが、災害等の発生時には、行政に警察官を派遣するので、その者から情報を伝達する。」旨の説明がなされた。

2 次回協議会の日程

次回協議会は、6月中の開催で日程調整することで委員の賛同を得た。

協議テーマについては、委員から要望が出ればそれをテーマとするが、要望が無ければ事務局に一任する。